

ねぎ

発行日：令和7年12月5日

1. 卸売価格の動向

○427円/kg (12月2日)

➢ 年比：115%

○12月の価格見通し

やや平年を上回って推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○862円/kg

(11月14日全国平均)

➢ 前月比：96%、年比：121%

➢ 東京：220円 (2本)

➢ 大阪：146円 (1本)

○特売店舗数/調査店舗数

➢ 東京：9/20 (前月4/20)

➢ 大阪：3/10 (前月5/10)

(機構調べ)

3. 家計消費動向

○128g/人 (10月全国平均)

➢ 前月比：141%

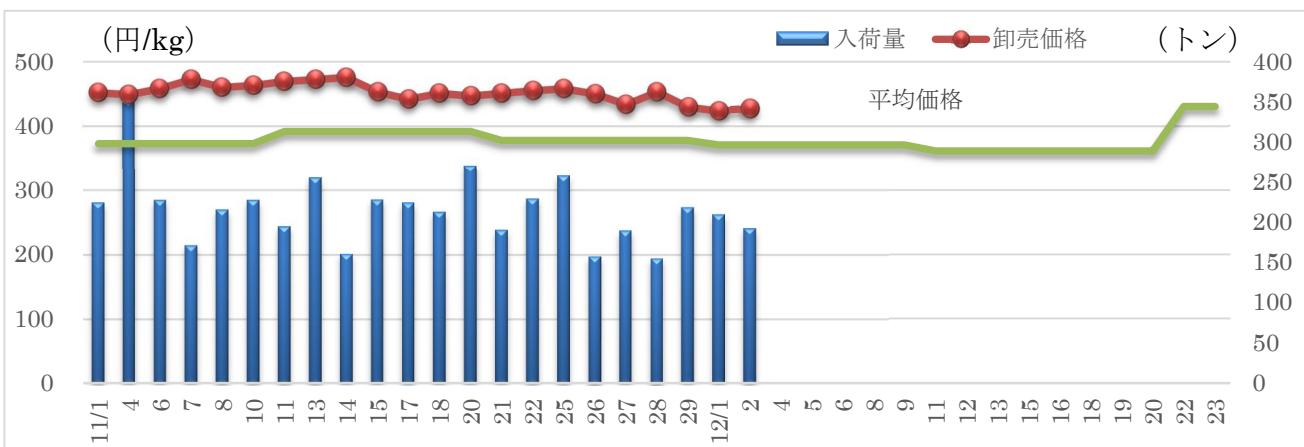
➢ 前年同月比：103%

○1,463g/人 (2024年年間)

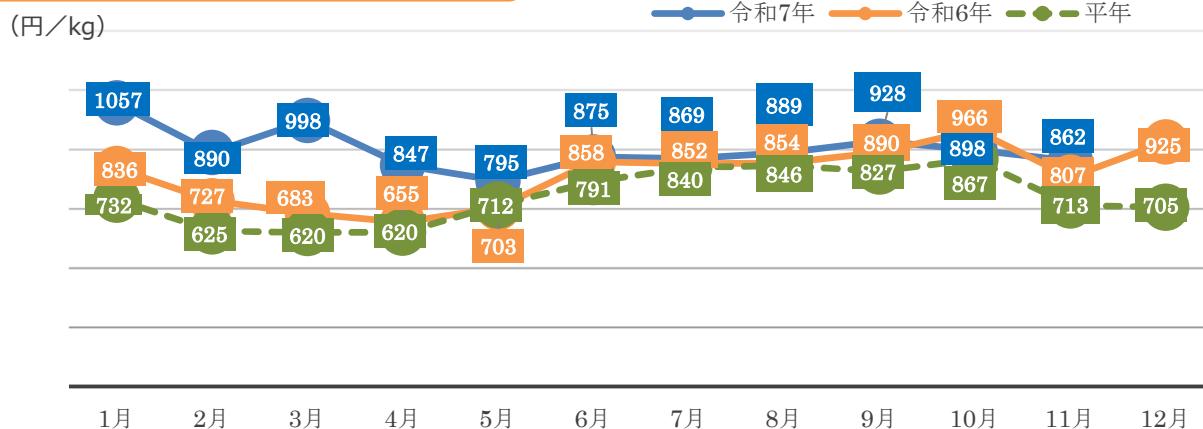
➢ 前年比：98%

(総務省統計局家計調査)

4. ねぎの卸売価格と入荷量の推移 (東京都中央卸売市場)



5. ねぎの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
青森県津軽北西部 (8/26)	前年並み	平年並み	早い	早い
宮城県中新田・加美町 (10/30)	減少	平年並み	平年並み	平年並み
秋田県能代 (11/14)	前年並み	やや不良	平年並み	平年並み
茨城県西 (7/14)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
埼玉県JAふかや南部 (9/16)	前年並み	やや不良	遅い	—
千葉県JAちばみどり (11/20)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
静岡県磐田 (10/24)	減少	平年並み	平年並み	—
鳥取県鳥取西部 (9/9)	前年並み	不良	遅い	遅い
大分県豊後高田市 (10/9)	前年並み	やや不良	遅い	遅い

※特記ない場合は平年比。 () 内は調査日。

(機構調べ)



千葉県 JA ちばみどり：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (12/6~1/2)

週 別 の 天 気				
12/6～12/12				
北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響が弱いため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響が弱いため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。				
12/13～12/19				
北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響が弱いため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響が弱いため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。				
12/20～1/2				
北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。				
	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）	
北日本	日本海側 低20 並30 高50% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	
	太平洋側	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	
東日本	日本海側 低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少20 並50 多30% 平年並の見込み	
	太平洋側	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	
西日本	日本海側 低20 並40 高40% 平年並か高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	
	太平洋側	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	

(気象庁 1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮ねぎ)

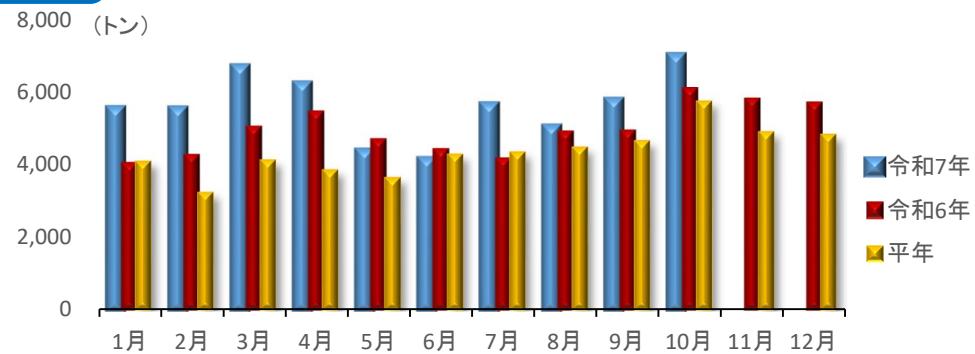
○7,000トン (10月輸入量)

➤ 前年同月比：115%

○輸入先国ベスト3

全量、中国からの輸入

(財務省貿易統計)



9. 一口灶

11月は、北海道や東北から関東産に移行する時期だが、後続の関東産の生育が遅れたため、平年を上回る価格で推移した。

12月は、茨城、千葉、埼玉など関東産が増えてくるが、夏場の高温干ばつの影響で生育はやや遅れ気味、細物傾向。出荷数量はやや平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探 : <https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793